

社会人のための情報システム誌
— 経営近代化のシステム研究 —

Computer Report 1

2014 No.712

3 はじめの言葉

4 情報戦まったただ中

試される日本の人間力**田原文夫**

激動を予感させる 2014 年である。近隣諸国と心理戦も含めたかなりシビアな情報戦が強いられそうな気配がある。その情報戦に最も必要なのが人間力である。情報処理は人間がするものだからだ。改めてコンピュータは人間を補助するものでしかないことを痛感する。情報処理は情報力で差が出ることも忘れてはならない。

情報漏洩と盗聴

元 CIA のスノーデン氏が、米国政府が各国首脳の会話を盗聴しているとリークしたことで、世界中が大騒ぎになった。直接的には、ドイツのメルケル首相の携帯を盗聴していたという話が発端だが、時が経つにつれ、メルケル首相以外の首脳の会話も盗聴していることが明らかにされてきた。

すでに多くの人々が、その存在を知っている「エシエロン」の主目的は、盗聴である。それは周知のことだし、世界中（の国々）で同じことをしているか、しようとしているのに、何を今更という米国側の困惑が透けて見える。

だが、改めて盗聴していたと言われると、何か言わなければならない。まさか、「はい、しています」とも言いにくい。どう告げたらいいかも分からないし、困ったオバマ大統領の顔が目に浮かぶ。

エシエロンは、世界中の通信を盗聴している。首脳と言えども盗聴を免れない。それを知っているから、各国は、対盗聴対策を取り、同時に、各国は、米国に対して、盗聴を行なっている。それを誰も言わないだけだ。

10 情報社会を考える その40

情報社会作りに、どう関与し、どう貢献していくか**編集部**

深刻な人材不足時代の到来

日本の設備投資が日本の景気変動のバロメーターのひとつとされているが、我がコンピュータ産業界で言えば、人材育成投資がそれに当たるだろう。しかし、大手のコンピュータユーザー企業においても、情報処理技術者の育成に向けた積極的な投資計画が目立っていない。

相変わらず、情報処理技術者の育成投資は鈍い。要員育成も含めて、ほとんどが、外部のアウトソーシングカンパニーへの依存体質を崩していない。

ポイントは、ユーザー企業へ人材供給しているアウトソーシングカンパニーが一手に引き受けているわけではないことである。そのまた下請けの人材派遣業者が、実際の人材供給源になっている。アウトソーシング企業とて、自前で必要な人材育成／要員教育投資をしているわけではない。この状況は従前と何ら変わっていない。

人材派遣を専門としている業者によると、今現在も派遣先からの契約打ち切りは依然として続いている。かといって、そのまま派遣先も無いまま技術者の雇用を続けることもかなわず、自宅待機もしくは離職勧告をする状況にある。

1 3 日本再生／世界競争力回復のカギ

何故 M-B I M構築が必要か その 35

水田 浩

オープンガバメント OG 1

1. 情報社会の行政システム「オープンガバメント」

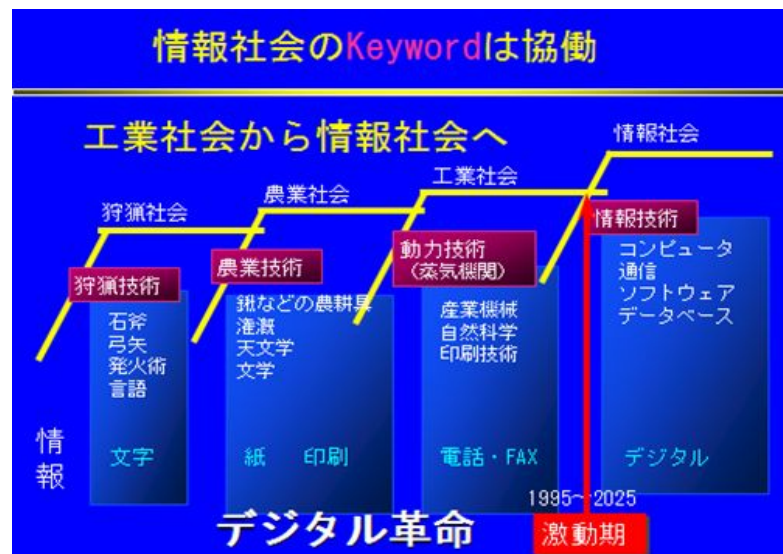
はじめに

1) 工業社会から情報社会へ

スマートシティ、コンパクトシティは、ICT をインフラにしている情報社会の都市で、G-BIM で作り、運用する。

そして、このスマートシティ、コンパクトシティの行政システムが、オープンガバメントである。スマートシティのオープンガバメントについて検討してみたい。

ソフトウェアは、人間の頭脳の代替をし、頭脳能力を拡大する機能である。この機能を中心とする情報技術を基本機能として成り立つ社会を情報社会と定義する



2 1 新春放談 激動になりそうな今年

分かりそうで分からない話

黒坂欣司

我々の仕事の場である IT 業界と情報は切っても切れない。コンピュータなくして、今の情報社会は有り得ない。誰もが認めるところである。

根底の話

昨年末に「特定秘密保護法案」が国会で可決された。この是非を本稿で述べるつもりは毛頭ない。ただ、可決されるまでの国会での討議、またマスメディア、特に朝日、毎日などの大手新聞、NHK、テレビ朝日などの論調に首を傾げていた。

これらマスメディアの論調には、法案の中身の重箱を突つつくような話ばかりだった。

そもそも、国家機密を保護する必要があるのかという原点の話が見られなかった。もっとも、国会での審議、質疑応答も同じようなものであったが。

つまり、「この種の法案を作ることには賛成だが、法案の各項が不十分だ」という点に疑義を唱えている議論と、一方では、「法案そのものに頑なに反対だ」と言っている大声とが、いたずらにスレ違うだけの大騒ぎだった。

2 7 連載 アーキテクチャ論 (33)

ArchiMate2.0 アプリケーション層

山本修一郎

国立大学法人 名古屋大学 情報連携統括本部 情報戦略室 教授

本稿では、オープングループのアーキテクチャ記述言語である Archimate[1] (アーキメイト) のアプリケーション層で使われるモデリング言語について紹介する。

■アプリケーション層の位置づけ

ArchiMate 階層は、表 1 に示すように、ビジネス層、アプリケーション層、テクノロジー層から構成されている。

アプリケーション層では、ソフトウェアによってビジネス層を実現する。

テクノロジー層は、アプリケーション層で必要となる基盤サービスを提供する。

3 5 IT 新時代とパラダイム・シフト

第 5 1 回 多発する「ながらスマホ」事故への対策は 根本忠明

何かしながらスマホをする人の事故や事件が多発している。歩きながら、運転しながらという「ながらスマホ」をしているの事故や事件が頻発している。これは、我が国だけでなく世界的傾向になっている。今回は、この「ながらスマホ」の現状と対策について、海外の事例を参考にして、この問題について考えてみることにしたい。

3 7 続インテリジェンスへのいざない 48

猪瀬前東京都知事の弁明に見る

情報処理プロセスの妙

今井 武

瓢箪から駒が出るという例えがあるが、普段は弁舌さわやかだった猪瀬前東京都知事の最後の言動はお粗末すぎた。最初についたウソ、ごまかしが、知事辞任にまで発展してしまった。とんでもない結末となった。駒が出てきたどころか、職を辞することで出て行ったものは多かったはずだ。失ったのは 5000 万円どころではない。

4 0 連載 四字熟語カトレーニング

すぎやまちヒロ

☆☆

セミナー／講演会の講師紹介

ユーザー会/各種研究会/勉強会における
セミナー/講演会での講師をご紹介します。

クラウドサービス導入前のチェックポイント

クラウドサービスは果たしてTCO削減に寄与するか

レガシーマイグレーションの進め方と留意点

これからの企業情報システム構築のポイント

これからの金融情報システムの課題

役に立つ情報管理の実践と課題

情報セキュリティ監査の受け方／臨み方

リポジトリベースのシステム資源管理

その他 クラウドサービス導入にお悩みの方

など 各種コンサルティングも承ります

ご質問／何でも相談は下記まで
株式会社 日本経営科学研究所
ComputerReport編集部

cr-info@jmsi.co.jp

CR 選書のご案内

CR選書

改訂版
データ・ウェアハウス

定価 本体 2,816円+税 送料(〒300) A5版 289頁

石井 義興 著
(株) 日本経営科学研究所 発行

目次

第一章 目録が必要としているデータ	第七章 情報システム部門しかできないデータ・ウェアハウスのサポート
第二章 データベースとデータ・ウェアハウスの相違点	第八章 データ・ウェアハウスの構築とデータ移行ツール
第三章 OLAP用のデータ・ウェアハウス	第九章 データ・ウェアハウスの利用とエンドユーザーツール
第四章 リレーショナル・モデルとネステッド・リレーショナル・モデル	第十章 データ・ウェアハウスの保守とオートメーション
第五章 正規化の問題点とデータ・ウェアハウス	
第六章 データ・ウェアハウス管理システム	付録

お申し込み/お問い合わせは cr-sale@jmsi.co.jp

実践データ・ウェアハウス OLAP

定価 本体 3,000円+税 送料(〒300) A5版 249頁

豊島一政・木村 哲 共著
(株) 日本経営科学研究所 発行

目次

第一章 これまでのEUCIでできなかったこと	第七章 多次元データベースを作る
第二章 OLAPの定義	第八章 多次元データベースの構造
第三章 Code博士によるOLAPプログラムの評価ツール	第九章 多次元データベースとアプリケーション
第四章 分析処理の歴史	第十章 OLAP/サーバーとフロントエンド
第五章 OLAP(多次元データベース)の形	第十一章 OLAPアプリケーションパッケージ
第六章 データウェアハウスとOLAP	付録

お申し込み/お問い合わせは cr-sale@jmsi.co.jp

CR選書

消費者行動論

定価 本体 3,000円+税 送料(〒300) A4版 181頁

田原文夫 著
(株) 日本経営科学研究所 発行

目次

第一章 消費者行動論	第四章 消費者意志決定
第二章 消費者行動と心理的決定要素	第五章 消費者行動トピックス
第三章 消費者行動と社会的決定要素	第六章 人間であること(人間行動トピックス)

お申し込み/お問い合わせは cr-sale@jmsi.co.jp

aism 研究活動報告
インターネットセキュリティの落とし穴

定価 本体 3,000円+税 送料(〒300) A4版 197頁

一橋大学教授 安田 聖 監修
aism情報セキュリティ・マシントリプル研究会 著
(株) 日本経営科学研究所 発行

目次

第一章 落とし穴を回避するための基礎テクノロジー	第十一章 WORM、KLEZの監視と駆除記
第二章 aism情報セキュリティマシントリプル研究会の発足	第十二章 メールが通らない
第三章 認知される電子署名方式の基本原則	第十三章 生体ネット運用のための情報オーナーの建設
第四章 世界を駆けめぐったCodeRedワーム	第十四章 最近のインターネット防衛戦線心得
第五章 情報システムにおけるリスク	第十五章 ITガバナンスの意識と情報セキュリティ対策
第六章 情報漏洩対策	第十六章 情報セキュリティ対策とセキュリティ教育
第七章 VPN(バーチャルプライベートネットワーク)	第十七章 ケーススタディ「情報セキュリティ教育」
第八章 aismの2013年度の事業計画	第十八章 セキュリティポリシー作成にあたってのノウハウ
第九章 情報セキュリティ情報研究会の発足と課題	
第十章 インターネット関連の苦情と不正アクセス	

お申し込み/お問い合わせは cr-sale@jmsi.co.jp

CR選書

エンタープライズ情報システム設計の基本書！
トップ主導の情報システム革新

定価 本体 3,000円+税 送料(〒300) A4版 271頁

高田 顯重 著
(株) 日本経営科学研究所 発行

目次

第一章 情報システム利用環境の変遷と今日的課題	第五章 情報システム監査
第二章 経営活動と情報システム	第六章 情報システム部門の体制革新
第三章 経営情報システム革新の方向	第七章 情報システムの成果評価
第四章 トップ主導の情報システム開発	第八章 変化対応のシステム作り

お申し込み/お問い合わせは cr-sale@jmsi.co.jp

計量モデルの構造と解法
—オーダーリングとスパース—

定価 本体 3,000円+税 送料(〒300) A4版 213頁

安田 聖 著
(株) 日本経営科学研究所 発行

目次

第一部 計量モデル	第二部 大規模モデルの効率的解法
第一章 計量モデルと計量モデルの解法と歴史	第五章 計量モデルの分割方法
第二章 線形計量モデルの解法	第六章 方型式のオーダーリング
第三章 非線形計量モデルの解法	第七章 大規模モデルの解法
第四章 反復法の問題点	第八章 スパース
付録・電子計算機の高速化と計量方法	

お申し込み/お問い合わせは cr-sale@jmsi.co.jp

CR選書

『いざ！というときの得広報』
すぐに役立つ実践117カ条

定価 本体 1,748円+税 送料(〒300) A5版 228頁

加藤 洋一 著
(株) 日本経営科学研究所 発行

目次

■ 広報ビジネスの前提条件	■ 売定文化企業体質
■ ニュースリリースは東方向運賃	■ 守るも攻めるも広報が窓口
■ 活字媒体の特性をチェックする	■ あなたならどう対応する「事例編」
■ 記事の材料(ネタ)と発表のテクニック	<付> 記事とうまく付き合うための鉄則(まとめ)

お申し込み/お問い合わせは cr-sale@jmsi.co.jp

ザ・ワールドリンク
がんばれ、国際グローバルサーバー—
IBM社に挑んだ国際情報システム作りの物語

定価 本体 1,848円+税 送料(〒300) A5版 268頁

迫 忠幸・湯浅 誠 共著
(株) 日本経営科学研究所 発行

目次

第一章 発端	第十一章 日本開港法の違い
第二章 あるプロジェクト	第十二章 米軍チーム撤退の危機
第三章 新しいシステムへの働き	第十三章 新たな仲間
第四章 WOOIに向けて	第十四章 米軍撤退所帯と新たな組み
第五章 FJO, IBM戦争	第十五章 開港場建設とバレンタイン
第六章 日本プロジェクトチームの発足	第十六章 ユーザー教育
第七章 プロジェクト開始	第十七章 日本運用体制と本番後日誌
第八章 米軍チーム立ち上りの流れ	第十八章 既存システムとのデータ交換の問題
第九章 大きな壁、英語コミュニケーション	第十九章 稼働時の一 直前、稼働、直後の苦しみ
第十章 米軍チーム、異なる三人組	第二十章 稼働時の二 安定期間と北米センター移設

お申し込み/お問い合わせは cr-sale@jmsi.co.jp